

平成30年度

福島町議会定例会6月会議

平成30年6月19日(火)

諸般の報告
(第1号)

福島町議会

提出された案件

1. 町長提出

- 議案第12号 福島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 議案第13号 福島町墓地公園設置及び管理条例の一部改正について
- 議案第14号 路線の認定変更について
- 議案第15号 財産（戸籍総合システム及び電子計算機器等）の取得について
- 議案第16号 平成30年度福島町一般会計補正予算（第3号）
- 議案第17号 丸山団地町営住宅（H30-A棟）建築主体工事請負契約の締結について
- 議案第18号 丸山団地町営住宅（H30-B棟）建築主体工事請負契約の締結について
- 報告第2号 福島町議会一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告について
- 報告第3号 専決処分した事件の報告について
- 報告第4号 平成29年度福島町一般会計繰越明許費の報告について
- 報告第5号 福島町第3期障がい者福祉計画の策定について

2. 議会提出

- 発委第1号 平成31年度地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について
- 発委第2号 高レベル放射性廃棄物の最終処分場の受け入れを拒否する決議について

町長・その他の執行機関から通知のあった説明員

町長	鳴海清春	副町長	高木壽
総務課長	工藤泰	総務課参事	小鹿一彦
企画課長	住吉英之	産業課長	川合力哉
産業課参事（農林）	佐藤和利	産業課参事（水産）	寺谷志保
税務課長兼会計管理者	西田啓晃	町民課長兼吉岡支所長	小鹿浩二
福祉課長	石岡大志	建設課長	紙谷一
認定子ども園福島保育所園長	金澤峰子	福祉センター次長	（鎌田一志）
教育長	前田勝広	事務局長兼給食センター所長	鎌田一志
農業委員会事務局長	（佐藤和利）	選挙管理委員会書記長	（工藤泰）
監査委員	本庄屋誠	監査委員補助職員	（阿部憲一）

職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	阿部憲一	次長	鍋谷浩行
主査	谷藤悟	書記	平野文子

監査報告

- 6月11日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。(水道事業会計)
- 6月18日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。
(一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、浄化槽整備特別会計、町立国民健康保険診療所特別会計)

委員会の調査報告

- 4月18日 経済福祉常任委員会から、所管事務調査結果の報告があった。

一部事務組合議会の報告

- 5月15日 佐藤孝男議員から、平成30年第1回渡島廃棄物処理広域連合議会臨時会の報告があった。
- 5月21日 佐藤孝男議員から、平成30年第1回渡島西部広域事務組合議会臨時会の報告があった。

福島町ふるさと応援基金の運用状況等の報告

- 6月4日 町長より福島町ふるさと応援基金の運用状況等の報告があった。

議会評価及び議員自己評価等

- 4月20日 平成29年度議会評価を決定した。
- 5月9日 平成29年度分の議員自己評価及び平成30年度の議員活動の目標(公約)を集約した。(10人提出)

休会中の所管事務調査の申出

- 5月21日 総務教育常任委員会から、休会中の所管事務調査の申し出があった。
- 6月11日 議会運営委員会から、休会中の所管事務調査等の申し出があった。
 - 14日 経済福祉常任委員会から、休会中の所管事務調査の申し出があった。
 - 〃 広報広聴常任委員会から、休会中の所管事務調査の申し出があった。

議会に関連した諸行事(平成30年度福島町議会定例会4月会議後 本日まで)

- 4月23日 経済福祉常任委員会意見手交(議長ほか)
- 25日 福島町観光協会通常総会(議長ほか)
- 27日 伊能忠敬北海道測量開始記念公園竣工式・伊能忠敬翁銅像除幕式(全議員)
- 28日 第71回松前さくらまつり開会式(松前町、議長)
- 5月9日 渡島総合開発期成会役員会(函館市、議長)
 - 〃 福島町コミュニティ運動推進協議会平成30年度総会(副議長)
- 11日 正・副議長会議(議長ほか)
- 13日 第27回北海道「女だけの相撲大会」(議長ほか)
- 14日 議会基本条例諮問会議第1回会議(議長ほか)
 - 〃 渡島廃棄物処理広域連合議会第1回臨時会(関係議員)
- 15日 福島町老人クラブ連合会平成30年度総会(議長)

- 5月18日 渡島西部広域事務組合議会第1回臨時会（関係議員）
- 〃 福島町商工会平成30年度通常総会（議長ほか）
- 〃 正・副議長・委員長会議（議長ほか）
- 20日 伊能忠敬翁没後200年記念式典（香取市、議長）
- 〃 ふくしま町女性の会設立10周年記念事業（副議長ほか）
- 〃 福島中学校体育大会（副議長ほか）
- 21日 議会運営委員会（議会だより編集ほか）
- 〃 総務教育常任委員会（意見書の採択ほか）
- 22日 渡島総合開発期成会定期総会（函館市、議長）
- 24日 渡島西部四町議会議員連絡協議会第1回理事会（木古内町、議長ほか）
- 27日 吉岡小学校・町民合同大運動会（副議長ほか）
- 27日～29日 全国町村議会議長・副議長研修会（東京都、議長）
- 31日 原水爆禁止国民平和大行進（議長）
- 6月3日 福島小学校大運動会（議長ほか）
- 8日 正・副議長への定例会6月会議議案説明（議長ほか）
- 9日 渡島地方消防総合訓練大会（松前町、議長ほか）
- 11日 一般質問通告（議長ほか）
- 〃 議会運営委員会（定例会6月会議の運営）
- 12～13日 北海道町村議会議長会第69回定期総会（札幌市、議長）
- 12日 町立診療所「やまゆりクリニック」オープンセレモニー（副議長ほか）
- 14日 経済福祉常任委員会（定例会6月会議後の休会中の所管事務調査）
- 〃 定例会6月会議議案勉強会（議長ほか）
- 17日 認定こども園福島保育所運動会（議長ほか）
- 18日 光銭医師歓迎会（議長ほか）
- 19日 定例会6月会議

常 任 委 員 会 報 告

平成30年3月9日、平成29年度福島町議会定例会3月会議において決定した、休会中の所管事務調査を終えた常任委員会から、別紙のとおり所管事務調査報告書の提出があったので、これを報告する。

平成30年6月19日 提 出

福島町議会議長 溝 部 幸 基

記

○ 経 済 福 祉 常 任 委 員 会

福 議 委 号
平成30年4月18日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

経済福祉常任委員会
委員長 熊 野 茂 夫

所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、福島町議会定例会3月会議（平成30年3月9日）において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第147条の規定により、下記のとおり報告する。

記

調 査 事 件	1 新たな陸上養殖技術の開発による「蝦夷アワビ」ブランド化事業について (他所管に関する事項について)	2 合葬式墓地整備事業について (他所管に関する事項について)
調 査 期 間	平成30年4月11日（1日間）	
出 席 委 員	委員長 熊 野 茂 夫 委員 杉 村 志 朗 委員 溝 部 幸 基	副委員長 花 田 勇 委員 平 野 隆 雄
欠 席 委 員	委員 平 沼 昌 平	
委員外議員	議員 川 村 明 雄	
出 席 説 明 員	町 長 鳴 海 清 春 副町長 高 木 壽 産業課長 川 合 力 哉 産業課参事(水産) 寺 谷 志 保 産業課課長補佐 石 川 秀 二 水産アドバイザー 山 内 繁 樹	町 長 鳴 海 清 春 副町長 高 木 壽 町民課長 小 鹿 浩 二 町民課課長補佐 山 下 貴 義 建設課長 紙 谷 一
議会事務局職員	事務局長 阿 部 憲 一 主 査 谷 藤 悟	次 長 鍋 谷 浩 行

[委員会意見]

調査事件 1 新たな陸上養殖技術の開発による「蝦夷アワビ」ブランド化事業 について（他所所管に関する事項について）

（平成 30 年 4 月 11 日調査）

本調査は、町が国の地方創生加速化交付金を活用し平成 28 年度から実施しているアワビ陸上養殖技術の開発と将来的な事業化に向けた試験のこれまでの状況と、平成 29 年度に建設した養殖加工施設において今年度から本格実施する当該養殖技術の企業化事業について、町より提示された資料に基づき内容を確認・調査したものであり、調査結果を以下のとおり報告する。

【論点とした調査項目及び意見】

1. 平成 29 年度建設のアワビ陸上養殖施設について

アワビ陸上養殖施設の建設、特に管理棟の仕様について設計変更の際に議会に説明等がなく進められたことについては非常に遺憾であり厳しく反省を求める。今後、このようなことが無いよう厳に注意されたい。

なお、同施設の運用については現地での状況も踏まえ以下の点について検討されたい。

- ① 養殖において一番重要となる海水の確保について、取水トラブル等の緊急時への対応に万全を期すこと。
- ② 敷地内、特に加工施設について現地では出入り口や施設内に砂等が見られた。衛生面やHACCP等への対応について同じ町内にある北海シーウィード（ヤマザキ）等の施設を参考に対応すること。

2. マーケティングについて

当該事業を進めるにあたって重要なポイントである、陸上養殖したアワビのブランド化については、付加価値を高めるための商品開発を行っているとの説明だが、現在まで、実際に目にしたのは平成 28 年 1 月の新年交礼会に出された松前産養殖アワビを使用した「炊き込みご飯」だけである。資料にもあるが、すでに、試験飼育してきたアワビが出荷予定サイズに達しているとのことから、自前の養殖アワビを使用した製品の開発を推進されたい。

なお、開発に当っては民間ベースで市場に対応できるよう経費節減を図り、地元の加工施設を活用し素材に出来るだけ付加価値を付けてマーケティング展開されることを期待する。

3. 今後の取組について

陸上養殖施設の稼働により、今年度から本格的に生産コスト、販売コストの算定が進められることになるが、採算性を含め企業化を目指し、市場の動向を見極めながら一定の方向性を示すよう、3年位を目途として事業を推進することを期待する。

4. 総括意見

当該事業については今年度から本格実施となり、本委員会としても状況等について注視していく必要があると思慮することから、町においては適宜状況等について報告願いたい。

[委員会意見]

調査事件 2 合葬式墓地整備事業について

(平成 30 年 4 月 11 日調査)

本調査は、近年の核家族化や少子化により墓地の承継者がいなくなるなどの全国的な問題や、町内においても合葬式墓地のニーズが高くなっている状況を受け、町が、合葬式墓地整備事業について、総合計画に追加し、今年度予算に整備費を計上していることから、町より提示された資料に基づき内容を確認・調査したものであり、調査結果を以下のとおり報告する。

【論点とした調査項目及び意見】

1. 合葬式墓地の整備について

合葬式墓地の整備は、昨年 の第 5 次総合計画のローリングにおいて新規事業として事業登載されてから町民の関心も高く、議会が 2 月に実施した町民懇談会においても質問・要望が多く寄せられた事案であり、本委員会に示された整備及び管理の内容については十分理解する。今後、整備を進めるに当っては町民の要望等に配慮し、出来るだけ広範な形で受け入れることができる様、以下の点について検討願いたい。

- (1) 合葬式墓地に整備される墓誌については、取り付けできる記名板の数量、規格等をこれから検討するとの答弁だが、当初埋蔵からの合葬式墓地利用のほか、墓じまいによる改葬等が考えられることから、使用者の希望に応え、文字数・サイズ等、十分余裕をもった規格で統一されるよう検討されたい。
- (2) 合葬式墓地の使用に係る申請等については、手続きの簡素化を図り申請者の負担を軽減することを検討されたい。
- (3) 合葬式墓地の整備に合わせて改正する条例等のうち、特に利用者の要件等については、様々なケース（行旅死亡人等）が考えられることから、出来る限り利用が可能な条文となるよう整理されたい。

渡島西部広域事務組合議会の報告

平成30年5月18日に開催された、平成30年第1回渡島西部広域事務組合議会臨時会の報告があったので、下記のとおり報告する。

平成30年6月19日 提出

福島町議会議長 溝 部 幸 基

記

渡島西部広域事務組合議会の報告

平成30年5月21日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

渡島西部広域事務組合議会議員
報告者 佐 藤 孝 男

平成30年5月18日に開催された、平成30年第1回渡島西部広域事務組合議会臨時会の報告をする。

1. 行政報告の主な内容

(1) 消防関係について

① 火災の発生状況について

3月20日(火)松前唐津地区で住宅火災が発生し、住宅4棟と倉庫1棟を焼損する被害があり、男性1人の尊い人命が失われました。

また、3月31日(土)には、松前町江良地区においても住宅火災が発生し、住宅5棟と車庫1棟が焼損する被害となっております。

なお、その際、消火活動に当たった消防職員2名が火傷を負い、消防ポンプ自動車1台が火災の熱を受け、車体等を破損する事故が発生しております。

現在、消防職員2名の火傷は治癒しており、破損した消防ポンプ自動車も、保険で全額対応し、修理を行っているとのことです。

出火原因については、現在調査中とのことです。

4月22日（日）には、知内町森越地区で野火が発生し、約240㎡を焼損しており、4月29日（日）知内町重内地区の薪小屋1棟と廃材、枯草等を焼損する火災が発生しております。

出火原因については、いずれも現在調査中とのことです。

新年に入り、火災が頻発している状況から、各消防署へ火災予防の徹底を指示し、署員による管内巡視の徹底を図り、防災無線や広報などを通じて火災予防の呼びかけを強化しているとのことです。

これから空気が乾燥する季節を迎え、山菜採りなどで入山する方が多くなることから、引き続き林野火災予防の啓発に努めるとのことです。

2. 審議した議案の内容

件 名	内 容
議案第1号 福島消防署水槽付消防ポンプ自動車（水-I A型）購入契約の締結について 【原案可決】	購入契約をするため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議決しました。
契約の目的 契約の方法 契約金額 契約の相手方	福島消防署水槽付消防ポンプ自動車（水-I A型）購入 指名競争入札 平成30年4月23日 53,353,650円 札幌市東区苗穂町13丁目2番17号 株式会社 北海道モリタ 代表取締役 中川龍太郎
議案第2号 福島消防署小型動力ポンプ付積載車購入契約の締結について 【原案可決】	購入契約をするため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議決しました。
契約の目的 契約の方法 契約金額 契約の相手方	福島消防署小型動力ポンプ付積載車購入 指名競争入札 平成30年4月23日 9,242,458円 札幌市東区苗穂町13丁目2番17号 株式会社 北海道モリタ 代表取締役 中川龍太郎
議案第3号 木古内消防署水槽付消防ポンプ自動車（水-II型）購入契約の締結について 【原案可決】	購入契約をするため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議決しました。
契約の目的 契約の方法 契約金額 契約の相手方	木古内消防署水槽付消防ポンプ自動車（水-II型）購入 指名競争入札 平成30年4月23日 58,757,450円 札幌市東区苗穂町13丁目2番17号 株式会社 北海道モリタ 代表取締役 中川龍太郎
議案第4号 平成30年度渡島西部広域事務組合一般会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ493千円を追加し、歳入歳出予

件 名		内 容
【原案可決】		算の総額を歳入歳出それぞれ1,571,438千円としました。
報告第1号	専決処分したので、地方自治法第179条第3項の規定により報告する。 【報告済み】	知内消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）購入契約の締結内容の議決更正。
区 分	更 正 前	更 正 後
事 業 名	知内消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）購入	左に同じ
契約金額	59,301,900円	59,246,970円 (54,930円の減)
受 注 者	札幌市東区苗穂町13丁目2番17号 株式会社 北海道モリタ 代表取締役 中川 龍太郎	左に同じ

※議案・関係資料は議会事務局に保管してありますのでご参照下さい。

渡島廃棄物処理広域連合議会の報告

平成30年5月14日に開催された、平成30年第1回渡島廃棄物処理広域連合議会臨時会の報告があったので、下記のとおり報告する。

平成30年6月19日 提出

福島町議会議長 溝 部 幸 基

記

渡島廃棄物処理広域連合議会の報告

平成30年5月15日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

渡島廃棄物処理広域連合議会議員
報告者 佐 藤 孝 男

平成30年5月14日に開催された、平成30年第1回渡島廃棄物処理広域連合議会臨時会の報告をする。

1. 審議した議案の内容

件 名	内 容
議案第1号 工事請負契約の締結について 【原案可決】	クリーンおしま基幹的設備改良工事 請負契約の締結を議決しました。
契約の目的	クリーンおしま基幹的設備改良工事 (クリーンおしま長寿命化総合計画に基づき、平成44年度までの延命化)
契約の方法	随意契約
契約金額	5,032,800,000円
契約の相手方	札幌市中央区大通西5丁目11番地 株式会社タクマ 北海道支店 支店長 横 井 良 浩
同意第1号 副広域連合長の選任について 【原案同意】	七飯町長 中宮安一氏の選任に同意 しました。
同意第2号 副広域連合長の選任について 【原案同意】	北斗市副市長 滝口直人氏の選任に 同意しました。

※議案・関係資料は、議会事務局に保管してありますのでご参照下さい。

福島町ふるさと応援基金の運用状況等の報告

平成30年6月4日付けで、平成29年度福島町ふるさと応援基金の運用状況等の報告があったので、下記のとおり報告する。

平成30年6月19日 提出

福島町議会議長 溝 部 幸 基

記

1. 福島町ふるさと応援基金の運用状況等について

○福島町ふるさと応援基金の運用状況等について

福島町ふるさと応援基金の平成29年度の運用状況等は、次のとおりです。

1. 寄付金の内訳（平成30年3月31日現在）

事業の種類	件数	寄附金額		処分金額		残高 ①+②-③
		①（累計）	②（累計）	③（累計）		
1. 産業の充実及び整備に関する事業	124件	2,015,000円	213,000円	179,000円		2,049,000円
2. 生活環境の整備及び健康福祉の充実に関する事業	80件	6,330,305円	0円	0円		6,330,305円
3. 人材育成及び文化の向上に関する事業	84件	3,484,970円	0円	1,361,000円		2,123,970円
4. コミュニティその他まちづくりに関する事業	30件	470,000円	297,000円	396,000円		371,000円
5. 特に指定なし	535件	13,685,947円	△510,000円	0円		13,175,947円
合計	実件数 853件	25,986,222円	0円	1,936,000円		24,050,222円

※1

2. 基金運用状況

（単位：円）

区分	前年度末 現在高	決算年度中増減高			決算年度末 現在高 (※5)	備考
		元金及び利息				
		積立金	支消金	差引		
道南うみ街 信用金庫	23,981,000	719,000	265,000	454,000	24,435,000	うち利息（累計） 393,087円 ※2 うち一財（累計） 1,691円 ※3

注①平成29年度3月会議で議決された補正予算額（719千円）の積立であること。

②積立金累計残高を千円単位に調整するため、寄附金額665,000円と預金利息53,809円の合計額である718,809円に一般財源191円を加算し、719,000円を積み立てるものであること。

③決算年度末残高から、これまでの利息と一般財源を差し引いた元金は24,040,222円で、上記1の残高合計額との差額10,000円（※4）は、平成30年度に積み立てるものであること。

④※5の額から※2及び※3の額を引いた額に※4の額を足した額が※1となります。

議会の評価及び議員の自己評価の結果

議会基本条例第17条の規定により、議会の評価及び議員の自己評価等を決定したので、これを報告する。

平成30年6月19日 提出

福島町議会議長 溝 部 幸 基

記

- 平成29年度 「議会の評価」
- 平成29年度 「議員の自己評価」
- 平成30年度 「議員活動の目標（公約）」

平成29年度 議会の評価・議員の自己評価の結果

(1) 平成29年度の「議会評価」結果

議会は、町民に議会・議員の活動内容を周知し、情報を共有することにより、議会活動の活性化を図るため、しっかりと現状を把握し議会の評価を行っています。

議会活動を主要10項目と具体的な37項目に区分し議員・議会の活動状況の基礎資料と、全国・全道の町村議会の実態や先進的な運営をしている議会などと比較検討し、議会運営委員会（4月20日決定）が評価して町民に公表するものです。

今年度の評価に当たっては、前年度の諮問会議における意見を受け、具体的な項目の見直しを行い、1項目を追加しました。

前年度との比較で良化・悪化した項目はありませんでしたが、本年度も引き続き、「町民が実感できる政策を提言する議会」を目指し、評価結果・諮問会議の意見を参考にしながら新たな課題を設定し、豊かな福島町のために不断の努力を続けてまいります。

※議会の活性化②を①とし、③「質疑」を「質疑・意見交換」としました。

【評価の分類：○＝「概ね一定の水準にある」 △＝「一部水準に達成していない」 ▲＝「取組みが必要」】

主要評価項目	具体的な項目	過去3年間の評価			H29 評価	摘 要
		H26	H27	H28		
1. 議会の 活性化	①一般質問	△	△	△	▲	昨年度に比べ質問者の延べ人数、項目数共に1件減少した。1定例会平均質問者数3.3人(33.0%) (全国6.2人(51.2%)、全道4.5人(40.5%)、渡島管内4.4人(35.5%))となっている。より、積極的な一般質問への取組みが必要である。
	②一般質問答弁事項等 追跡調査	△	△	△	○	本会議、予算審査及び決算審査特別委員会での一般質問等に対する町長、副町長、教育長の答弁内容に一定の指定事項を設け、追跡調査を行っている。(追跡調査件数 H28=5件、H29=2件)
	③質疑・意見交換	○	○	○	○	本会議、予算・決算審査特別委員会での審議も活発に行っている。引き続き質疑内容を充実する。(平均質問者・件数：定例6.5人 26.8回、定例外4.4人 14.0回、委員会7人 34.0回) (平均意見交換件数：定例5人 17.5回、定例外3.4人 9回、委員会8.5人 69.0回)
	④討議・討論 (本会議)	△	△	△	▲	常任委員会所管調査、事前勉強会等の実施により本会議での討議・討論は少ないものとなっているが、引き続き論点・争点を明らかにした討議・討論への取組みが必要である。(H28=1件 延べ1人、H29=0件)
	⑤討議(委員会)	○	○	○	○	各種委員会において質疑・意見交換で出された内容を論点整理した項目に沿って活発な議員間討議を行っている。(H29開催日数：常任委員会=16日、特別委員会=8日)
	⑥議員提案	○	○	○	○	一般質問項目を常任委員会検討しているが、所管調査として取組む事案はなかった。所管事務調査結果を行政側に手交することで議会の考えが政策等に反映されるようになっている。条例提案による政策反映に至る案件はなかった。
	⑦文書質問	△	△	△	▲	質問が特定の議員に偏っている。政策提案等に向けた文書質問への取組みが必要である。(H28=実2人、5項目 H29=実3人、5項目)
2. 議会の 公開度	①委員会の公開	○	○	○	○	本年度は100%公開し、委員会もライブ中継を行っている。
	②審議記録の公開	○	○	○	○	ホームページで全て公開している。
	③審議の会議資料 の公開	○	○	○	○	基本的に全て公開している。
	④議会経費の公開	○	○	○	○	決算内容を含め、交際費及び公務活動費などの詳細も全て議会だより及びHPで公開している。
	⑤視察報告の公開	○	○	○	○	本会議及びホームページで公開している。
	⑥全員協議会の公開	○	○	○	○	ライブ中継及び録画配信を行っている。
	⑦会議公開の充実 (ライブ中継)	○	○	○	○	適宜、配信機器の更新を実施し、鮮明な映像配信を行っている。また、町民からの要望に応え、スマートフォンでの視聴も可能としている。(録画配信のみ) 全道=73議会
3. 議会の 報告度	①議会だより・速報 版等の発行	○	○	○	○	議論状況や内容をより分かりやすくまとめ、質疑等の掲載も充実させた。H28.6月発行分からは文字サイズを拡大している。全道=単独発行121議会
	②議会ホームページ の運用	○	○	○	○	H28年3月より議会ホームページをリニューアルした。引き続き、迅速な公開に努める。全道HP=124議会

※「討論」とは、議会の本会議において、表決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対の議員個々の意思を表明すること。

主要評価項目	具体的な項目	過去3年間の評価			H29 評価	摘 要
		H26	H27	H28		
4. 住民参加度	①各種団体の懇談会の開催（常任委員会の活動）	△	△	△	△	テーマと開催方法（住民主催等）を工夫した取組みが必要である。 [懇談会：H27=0回 H28=2回 H29=2回 出前議会：H24=1回]
	②町民と議員との懇談会の開催	○	○	○	○	H29は議員を3班に分け町内会単位で実施した。引き続き懇談内容の充実への取組みが必要である。 (H28=6日間・18会場124人、H29=6日間・18会場103人) 全道=65議会
	③参画者への対応と参加度	○	○	○	○	参画者にも同様の資料を用意している。討議への参画が課題である。 (H28=定例15人、平均3.8人 定例外8人、平均1.3人) (H29=定例18人、平均4.5人 定例外8人、平均1.6人) (全道平均=定例11.7人、定例外1.1人)
	④休日・夜間議会の開催	○	○	○	○	H19から夜間議会を開催している。休日議会は未実施である。 (参画者H28=8人、H29=6人) 全道=夜間4議会、休日7議会
5. 議会の民主度	①一般質問の一問一答方式	○	○	○	○	一問一答方式を実施している（H12）。質問回数と時間制限の規定を廃止している（H20）。 全道=114議会
	②説明員との対面方式	○	○	○	○	庁舎建設時から実施している（H6）。 全道=127議会
	③一般質問の答弁書配付	○	○	○	○	実施済み（H13.9）。質問に関する的確な（漏れや補足答弁を必要としない）通告書、答弁書となるように改善していくことが必要である。
6. 議会の監視度	①長との適正な関係の維持	○	○	○	○	福島町議会議員の不当要求行為等を防止する条例を制定して（H20）、町長との適正な緊張関係を維持している。
	②全員協議会の適切な運用	○	○	○	○	事前協議となるような執行者からの要請による開催はしない。
	③議会機能（九制・批判・監視等）の適切な遂行	○	○	○	○	定例会毎に議会運営等に係る反省点を洗い出し行政側に説明し文書を手交している。又、常任委員会で取りまとめた調査意見を行政側に手交し説明することで委員会の意向が政策に反映されるようになっている。
7. 議会の専門度	①所管事務の充実強化	○	○	○	○	常任委員会の所管事務調査は論点・争点を整理し委員間で討議し意見をまとめている。委員会の意見が政策に反映されるよう、調査意見を行政側に手交し説明している。（H29 調査件数21件）
	②政策立案・審議能力の向上強化	○	○	○	○	各常任委員会における条例の制定・改正等について、議会として町民の利益になるような修正意見を提言している。 ・福島町定住促進住宅基本計画及び建設用地取得について ・福島町郷土資料館（仮称）の設置について ・公共的団体の総合調整について ・いじめ防止条例の制定について ・福島版営農モデルについて 等
	③議決権範囲の拡大	○	○	○	○	町の主要計画を議決対象としたことで、各計画が広く認識され内容の充実につながっている。平成28年度に見直しを行っており現在の議決主要事件は11件となっている。
8. 事務局の充実度	①議場・委員会室の整備充実	○	○	○	○	議場映像設備（H27）、議場等音響設備（H28）の更新を行うなど、設備の適正管理により映像配信等の精度向上が図られている。
	②事務局の充実強化	○	○	○	○	情報公開の迅速化、充実した情報・資料収集、法務能力の向上などに取り組んでいる。体制は正職員3人、臨時1人で充実している。
9. 適正な議会機能	①法定以外の執行部付属機関への委員就任廃止	○	○	○	○	法定となっている、都市計画審議会、青少年問題協議会のみ就任している。
	②適正な議会経費	○	○	○	○	諮問会議の答申を踏まえ、適正な議会活動費の基準となる標準額を決定した。（標準額=3,184千円・H29 決算見込額=3,137千円）
	③議会の自主性強化	○	○	○	○	「議会基本条例見直し検討による行動計画」に基づき課題に取り組んでいる。
	④議会付属機関の設置	○	○	○	○	福島町議会基本条例諮問会議を設置し毎年度数項目を諮問し、それぞれ答申を受け議会活動に反映している。
	⑤系統議長会の体制整備	○	○	○	○	道議長会に対し、町村議会が利用しやすいホームページへの見直しを要望している。（資料提供、道内の町村議会のリンク等）
10. 研修活動の充実強化	①研修の効率的な取組み	○	○	○	○	本会議等の事前勉強会を実施し議案等の要点や問題点を確認している。議員研修会の報告会を開催し情報共有を図っている。また、町が進めている事業等に関連して千葉県香取市（伊能忠敬翁記念館）、東京都（第二青函トンネル構想）を視察研修している。

議会評価に対する諮問会議意見

5月14日に開催された「議会基本条例諮問会議」の意見は、次のとおりでした。

◎具体的な項目の整理については、前年度の意見を反映したものであり、良とする。また、評価についても、妥当である。

(2) 平成29年度の「議員の自己評価」結果

平成17年分の議会活動から始めた議員の自己評価は、今回で13回目となります。集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の151項目中、「○ほぼ満足」は74件で49%、「△努力が必要」は67件で44%、「▲さらに努力が必要」は10件で7%となりました。

次に、「結果の評価」については、項目全体の151項目中、「○ほぼ満足」は45件で30%、「△努力が必要」は69件で46%、「▲さらに努力が必要」は37件で25%となりました。

取組の評価では「○ほぼ満足」が49%であるが、結果の評価では30%と大きく差があります。このことから、今後も各議員の取り組みが今まで以上に結果として反映されるように努力する必要があります。

また、議員個人としての活動について、4名の議員から報告がありました。

○議員別の評価集計

議員名	杉村志朗		滝川明子		川村明雄		花田 勇		木村 隆		平沼昌平	
項目	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	3	1	4	4	14	5	7	4	10	8	11	5
△ 努力が必要	8	6	7	7	5	10	6	6	0	2	4	8
▲ さらに努力が必要	0	4	0	0	0	4	0	3	0	0	0	2
計	11	11	11	11	19	19	13	13	10	10	15	15

議員名	佐藤孝男		熊野茂夫		平野隆雄		溝部幸基		合計	
項目	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	8	5	11	7	4	4	2	2	74	45
△ 努力が必要	2	5	0	4	13	13	22	8	67	69
▲ さらに努力が必要	0	0	0	0	3	3	7	21	10	37
計	10	10	11	11	20	20	31	31	151	151

○議員個人としての活動

	川村明雄	花田 勇	熊野茂夫	溝部幸基
報告会等の実施	—	2	2	1
議員だよりの発行	—	1	—	—
個人ホームページの開設	○	—	—	○
その他	—	—	—	—

●議員活動の目標（公約）

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標（公約）として、平成19年から公表しています。

本年度は、10名の議員で総数155項目（昨年度：10名提出 152項目）となりました。

「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」
 評価期間：平成29年4月～平成30年3月

杉村志朗 69歳

経済福祉常任委員会委員

議員歴19年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	各町内会館の存続・廃止対応	△	△
	吉岡総合センターの管理運営状況	△	▲
財政	安心して暮らせる財政の確立	△	△
経済	地元産業の支援	○	△
福祉	住民環境の充実	△	△
	高齢化に対応した葬祭費の改善	△	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	社会教育施設の環境見直し	△	△
	いじめのない学校運営	○	○
その他	横綱ビーチの活用促進	△	▲
	岩部地区方面（通行止）対策	○	△
	将来人口減少対策	△	▲

滝川明子 76歳

議会運営委員会副委員長、総務教育常任委員会委員 議員歴27年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	防災の町づくりへ推進	△	△
	男女平等参画の推進	△	△
財政	住宅リフォームの助成を	△	△
経済	若者雇用の場づくりを中心に定住対策	△	△
	B級グルメの福島ブランドを	△	△
福祉	ゆとらき館の改修	△	△
	利用しやすい介護保険制度の推進	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	いじめを絶対に許さない対策推進	○	○
	高校存続対策	○	○
その他	議会基本条例に基づく活動の推進	○	○
	町内会を中心にボランティア活動の推進	○	○

川村明雄 72歳

総務教育常任委員会委員長、議会運営委員会委員、 議員歴11年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	定住及び少子化対策への政策提言	○	△
	住民が誇れる魅力あるまちづくりの考察と提言	○	△
	町内の国道改良及び第二の青函トンネル構想推進	○	△
財政	ふるさと応援基金や財政調整基金の有効活用の推進	△	▲
	町総合計画と将来的安定財源の確保、推進	○	△
経済	空き家利活用の考察と提言	○	△
	起業支援対策の推進と定住対策課題の考察	△	△
福祉	少子化対策と子育て支援対策の推進	○	○
	吉岡温泉ゆとらき館改修案の提言	△	▲
	医療対策の充実確保	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	福島高校存続対策の推進及び中高一貫教育の考察	○	△
	学校教員の労働過重問題への考察、検討	○	○
	町民プールの活用拡大と考察、提言	○	▲
その他	館崎縄文土器に関するまち興し対策への考察	△	△
	身近な生活環境の改善対策の推進	○	○
	南北海道駅伝競走大会の将来的堅持	○	○
	町内会を始めとする各種ボランティア活動の実践	○	△
	松前半島道路計画の推進	○	△
	原子力発電からクリーンエネルギー社会への考察	△	▲

花田 勇 77歳

経済福祉常任委員会副委員長、議会運営委員会委員
渡島西部広域事務組合議会議員

議員歴 7年

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	結果
行政	地元産業の活性化に向けた推進	○	○
	小中一貫校に対する提言	△	△
	福島町の歴史・文化の活性化提言	○	○
財政	財政健全化に対する提言	△	△
	福祉分野の財源に対する努力	△	△
経済	陸上養殖アワビの増産に努力	○	▲
	福島町まちづくり工房の推進	○	△
	間引き昆布のさらなる利用推進	○	○

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	結果
福祉	高齢化が進む中で利用者が一番何を望むのかをよく考えて行きたい。	△	△
教育	少子化の中で小中学校がこのままで良いのかをテーマに取組みたい。	△	▲
その他	誹謗・中傷の無い町づくり	△	▲
	各種行事への参加	○	○
	町民と議員との懇談会にもっと多く町民が参加出来るように努力	○	△

木村 隆 38歳

総務教育常任委員会委員、監査委員 議員歴 11年

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	結果
行政	指定管理者政策の注視	○	△
	伊能忠敬公園のあり方	○	○
経済	間引き昆布のさらなる活用に向けた情報収集	○	○
	外国人研修生の国の動向や調査活動	○	○
	アワビ事業の本格稼働に向けた注視	○	○

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	結果
福祉	子育て政策（子育て住宅）への提言	○	△
	介護政策、国保広域化への提言	○	○
教育	吉岡小の在り方の方向性確認	○	○
	タブレット教育への提言	○	○
その他	消防団活動の推進（全道大会）	○	○

平沼昌平 63歳

議会運営委員会委員長、経済福祉常任委員会委員 議員歴 13年

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	結果
行政	雇用の場の創出に向けた提言	○	△
財政	効率的な事務事業を検証し、経費削減に対して提言する。	△	△
経済	後継者育成と定住化促進に向けた提言	△	△
	一次産業に対する施設整備の提案と経営安定化に対する提言	○	△
	町内インフラ整備の充実と保守維持体制の推進に対する提言	○	○
福祉	高齢者の生活環境の充実とサポート体制の提言	○	○
	健康な町づくりに対する保健医療環境の充実した体制づくりの提言	○	○

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	結果
教育	少子化による学校教育の環境整備と地域環境の在り方の提言	△	▲
	社会教育の充実と施設環境の整備に対する提言	○	△
その他	松前半島高規格道路整備に向けた取組体制の提言	○	△
	有害鳥獣駆除に対する後継者育成支援体制の充実と後継者確保及び事業の広域化（4町）取組の環境整備に対する提言	○	△
	吉岡総合センターの活用と運営に対する提言	○	○
	安心安全な道路網の整備と保全体制の充実に対する提言	○	○
	漁業の新たな養殖事業や既存養殖事業の環境整備の支援体制の提言	○	△
	水産加工事業に対する支援体制と雇用体制の充実に対する提言	△	▲

佐藤孝男 71歳

総務教育常任委員会委員、渡島西部広域事務組合議会議員
渡島廃棄物処理広域連合議会議員

議員歴 23年

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	結果
行政	第5次総合計画の推進、ローリングのチェック	○	○
財政	将来を見据えた無駄のない財政健全化に取組みます。	○	○
経済	漁業・農業者（新規就業者）の確保と育成	○	△
	新たな養殖アワビ推進、養殖施設の推進、ナマコ放流の検証	○	△

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	結果
福祉	介護予防医療の推進	○	○
教育	福島商業高校の存続の推進	△	△
	学校給食センターの地元産物利用の強化	○	○
	体験学習の実施、食育への取組み	○	△
その他	各種行事への積極的な参加	△	△
	町内会活動への参画	○	○

熊野茂夫 68歳

経済福祉常任委員会委員長、議会運営委員会委員 議員歴7年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	「総合計画」の確実な推進とその検証	○	△
	各公共施設の再整備と改修への諸提言	○	△
財政	将来を見据えた予算編成への諸提言	○	○
	過去の諸施策を財政的視点により検証をします。	○	○
経済	「養殖事業」の安定と発展のための諸提言	○	△
	農林業への実効性のある諸提言	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	高齢者が利用しやすい公共施設の改修・整備への諸提言をいたします。	○	△
	国民健康保険・介護保険会計の健全な財政運営への諸提言	○	○
教育	学校教育環境の充実のため施策提言をいたします。	○	○
	社会教育への諸施策の提言をいたします。	○	○
その他	生活環境改善への提言	○	○

平野隆雄 69歳

副議長、広報・広聴常任委員会委員長、総務教育常任委員会委員、議員歴22年
経済福祉常任委員会委員、渡島廃棄物処理広域連合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	町基盤産業の支援・町内景気の活性化	▲	▲
	自然環境保全・汚染防止対策	△	△
	各公共施設の管理運営	△	△
	松前半島高規格道路推進	△	△
財政	福島川改修事業の推進	▲	▲
	町施設の利用促進・円滑な管理運営	△	△
経済	養殖コンブ製品増の提言	○	○
	町内起業家の育成、支援対策	○	○
	町内各産業の新たなブランド開発推進	△	△
	インターネット活用販売促進	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
経済	高齢化等における水産加工場への対応	○	○
	町内特産物のブランド化の促進	△	△
福祉	健康な町づくりの推進・医療費助成	○	○
教育	給食を通じた食育と地産地消促進	△	△
	少子化の中の教育行政の見直し	△	△
	学芸員の配置、縄文土器等による町づくり	△	△
	福島商業高等学校存続対策強化推進維持	△	△
その他	学校における相撲の推進	△	△
	吉岡温泉の円滑な管理運営	△	△
	横綱ビーチの利用促進	▲	▲

溝部幸基 70歳

議長、総務教育・経済福祉常任委員会委員 議員歴38年
渡島西部広域事務組合議会議長、

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進(総合計画条例に関する提言)	△	▲
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査研修	△	▲
	「公契約条例」に関する調査研修	△	▲
	行政サービスの効率的な運営への提言(外部委託・時間差出勤・研修等)	△	▲
	防災対策の提言(災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修)	△	▲
	「平和の町宣言」に関する調査研修	△	△
	浄化槽(下水道整備)の普及推進	▲	▲
財政	財政健全化への取り組み(予算決算審査・行政評価充実：基金有効活用)	△	△
	退職手当制度の抜本的改善	▲	▲
経済	新しい仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設	△	△
	異業種連携による「福島ブランド」の開発	△	▲
	地場産品の6次産業化に関する調査研修	△	▲
	産業団体と課題に取組む産業公社共組みづくりの調査研修	△	▲
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修	△	▲
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査研修	△	▲
	「健康な町づくり」(全町的な取り組み)で医療費の節減	△	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	予防医療の推進	▲	▲
	在宅介護支援体制の整備	△	▲
教育	小中学校一貫教育、コミュニティースクールに関する調査研修	△	▲
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査研修	▲	▲
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報収集・研修)	▲	▲
	「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動の推進	△	▲
	食育・地産地消の推進(「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修)	△	▲
その他	わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現(議会基本条例の周知)	△	△
	活発な討議(討論)ができる議会の実現	△	△
	政策的な提案のできる議会の実現	△	△
	町議会議員選挙への供託金制度導入	▲	▲
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	△	△
	視察の積極的な受け入れ(鶴田町・鹿鹿広域・訓子府町・那須塩原市・普代村・河北町・江差町計7団体46名：1市5町村1広域)	○	○
	ホームページの充実(提案、情報発信、参加型)	△	△
	各種行事、研修への積極的な参加(活動実日数266日)	○	○

(3) 平成30年度の「議員活動の目標」(公約)

議員活動の目標(公約)(個人票)

目標期間:平成30年4月~平成31年3月

〔杉村志郎〕

分野	具体的な目標項目
行政	職員の健康管理に対する取組
	町民に不安のない町づくり
	今後の各施設に関する指定管理者問題
財政	健全財政運営
	空家住宅(景観条例)等の助成見直し
経済	産業団体との積極的懇談
	水産加工業の安定支援
福祉	高齢者に対する各種行事の参加増
教育	学校の環境美化の改善
	委託施設の管理の徹底強化
	福島高校への入学増に向けた対策強化
その他	観光施設の充実誘致(観光客増期待)
	一次産業(農業・漁業)の安定生活

〔滝川明子〕

分野	具体的な目標項目
行政	防災の町づくりの推進
	男女平等参画の推進
財政	住宅リフォームの助成を
経済	若者雇用の場づくりを中心に定住対策
	日級グルメの福島ブランドを
福祉	ゆとらぎ館の改修
	利用しやすい介護保険制度の推進
教育	いじめを絶対許さない対策推進
	高校存続対策
その他	議会基本条例に基づく活動の推進
	町内会を中心にボランティア活動の推進

〔川村明雄〕

分野	具体的な目標項目
行政	定住及び少子化対策への政策提言
	住民が誇れる魅力あるまちづくりの考察と提言
	町内の国道改良及び第二の青函トンネル構想推進
財政	ふるさと応援基金や財政調整基金の有効活用
	町総合計画と将来的安定財源の確保、推進
	「道の駅」構想に関する経済、財政面からの考察
経済	空き家利活用の対策提言
	起業及び企業者支援対策の考察、推進
	定住促進に繋がる経済対策の考察、提言
福祉	少子化対策と子育て支援対策の推進
	吉岡温泉ゆとらぎ館改修案の提言
	住民の望む医療対策の充実確保
教育	福島高校存続対策の推進及び小中高一貫教育の考察
	学校教員の労働過重問題への考察、検討
	生涯学習課題の考察と推進
その他	松前半島道路計画の推進
	町内会を始めとするボランティア及び文化活動の推進
	原子力発電からクリーンエネルギー社会への考察
	長寿と定住に繋がる関係課題の考察探究 介護・子育て・防災減災・中小企業アンケートの実施

〔花田勇〕

分野	具体的な目標項目
行政	福島町の活性化への提言
	町民のために経費削減しながらの行政で在るため努力
財政	いかに財政健全で安定した行政で在るかを提言
経済	一次産業が元気になるよう今後努力
	陸上養殖アワビ事業や間引き昆布等のさらなる推進に提言
福祉	町民のための町立診療所の安定した運営に努力
	高齢者や障害者に対する公共施設の充実
教育	小中学校生の学力向上に努力
	福島小学校と吉岡小学校の統合問題を注視
その他	町民と議員との懇談会に参加者が多くなり活発になるよう努力
	各種行事への参加

〔平沼昌平〕

分野	具体的な目標項目
行政	雇用の場の創出に向けた提言
	防災対策に対しての提言と危機管理の充実に向けた取組の提言
財政	効率的な事務事業を検証し、経費節減に対して提言
経済	後継者育成と定住促進に向けた提言
	一次産業に対する施設整備の提言と経営安定化に対する提言
福祉	高齢者の生活環境の充実とサポート体制へ提言
	在宅介護支援体制の充実した体制づくりの提言
教育	少子化による学校教育の環境整備と地域環境の在り方の提言
	社会教育施設環境の整備に対しての提言
その他	松前半島高規格道路整備に向けた取組体制の提言
	有害鳥獣駆除に対する後継者育成支援体制の充実と後継者確保及び事業の広域化(4町)取組の環境整備に対しての提言
	吉岡総合センターの活用と運営に対しての提言
	安心安全な道路網の整備と保全体制の充実に対しての提言
	前浜漁業の環境整備と藻場造成に対する必要性の提言

〔木村隆〕

分野	具体的な目標項目
行政	総合計画後期に向けた提言
経済	松前半島高規格道路整備の推進
	都市計画に基づく町、地域のあり方を考える(コンパクトシティ)
福祉	改良住宅建て替え、子育て住宅建設への注視
	資格者確保への提言(保育士、看護師)
教育	高校存続の新しいしくみ作り
	学校選択制スタートへの提言
その他	観光協会の事務体制のあり方
	新たな道の駅政策の注視

〔 佐藤孝男 〕

分野	具体的な目標項目
行政	防災対策の推進
	各公共施設の改修と今後の管理運営
	がんばる応援基金の有効利用の推進
財政	将来を見据えた無駄のない財政健全化の推進
	総合計画の推進、ローリングのチェック強化
経済	しいたけ、ほだ木の確保と将来への見通し
	一次産業（農業・漁業）の振興、新規就業者の育成
	養殖事業（アワビ・ウニ・ナマコ）の推進と事業の検証
福祉	介護予防サービスの充実強化
	予防医療の推進
教育	学校給食センターにおける地場産物利用の強化
	福島商業高校存続の対策強化、推進
	食育への取組みとして体験学習の実施
その他	各種行事等の参加
	町内会活動の積極的な取組み

〔 熊野茂夫 〕

分野	具体的な目標項目
行政	「総合計画」の確実な推進とその検証をいたします。
	大型公共施設の再整備と改修への諸提言をいたします。
財政	将来を見据えた予算編成への諸提言をいたします。
	過去の諸施策を財政的視点より検証します。
経済	「養殖事業」の安定と発展のための諸提言をいたします。
	農林業への実効性のある諸施策の提言をいたします。
福祉	高齢者が利用しやすい公共施設の改修・整備への提言をいたします。
	国民健康保険・介護保険会計の健全な財政運営への諸提言をいたします。
教育	学校教育施設の再編及び充実のための施策提言をいたします。
	社会教育への諸施策の提言をいたします。
その他	各地域の実情に応じた、生活環境改善への提言
	「道の駅」の改修及び新設への提言をいたします。

〔 平野隆雄 〕

分野	具体的な目標項目
行政	第二の青函トンネル構想推進
	町内景気の活性化の推進
	福島川改修事業の推進
財政	財政健全化の確立
	各町内会館の利用等をふまえ再編推進
	町立診療所運営の健全経営の実現
経済	養殖コンブ製品増の推進
	蝦夷アワビの新たなブランド開発推進
	町内各産業の新たなブランド開発推進
	町内起業家の育成、支援対策

分野	具体的な目標項目
福祉	超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言
	吉岡温泉ゆとらぎ館の利用増の提言
	がん検診の検診率向上推進
教育	少子化の中の教育行政の研修推進
	学芸員配置で縄文土器等による町づくり
	福島商業高等学校入学増へ対策強化推進
その他	学校における相撲人口増の推進
	岩部海岸クルーズ中心の交流人口の活性化推進
	伊能忠敬公園の観光客増に向けたPR活動等への提言

〔 溝部幸基 〕

分野	具体的な目標項目
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（各種計画に関する提言・検証）
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査研修
	「公契約条例」に関する調査研修
	行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等）
	防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修）
	「平和の町宣言」に関する調査研修
	浄化槽（下水道整備）の普及推進
財政	財政健全化への取り組み（予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用）
	退職手当制度の抜本的改善
経済	新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設
	異業種連携による「福島ブランド」の開発（ブランド化システムの再検討）
	地場産品の6次産業化に関する調査研修
	産業団体と課題に取組む産業公的仕組みづくりの調査研修
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修

分野	具体的な目標項目
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査研修
	「健康な町づくり」(全町的な取り組み)で医療費の節減
	予防医療の推進
	在宅介護支援体制の整備
教育	小中学校一貫教育、コミュニティスクールに関する調査研修
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査研修
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み（情報収集・研修）
その他	「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進
	食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修）
	わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現（議会基本条例の周知）
	活発な討議（討論）ができる議会の実現
	政策的な提案のできる議会の実現
	町議会議員選挙への供託金制度導入
	幅広い情報収集、積極的な研修参加
	視察の積極的な受け入れ
ホームページの充実（提案・情報発信・参加型）	
各種行事、研修への積極的な参加	

休会中の所管事務調査等について

各常任委員会等から、休会中の所管事務調査等の通知があったので報告する。

平成30年6月19日 提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

- 総務教育常任委員会
- 経済福祉委員会
- 広報広聴常任委員会
- 議会運営委員会

福 議 委 号
平成30年5月21日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

総務教育常任委員会
委員長 川 村 明 雄

休会中の所管事務調査について

本委員会は、所管事務調査のうち次の事件等について、休会中に調査を要するものと決定したので、会議条例第144条の規定により通知します。

記

○調査事件 1. その他所管に関する事項について

福 議 委 号
平成30年6月14日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

経済福祉常任委員会
委員長 熊 野 茂 夫

休会中の所管事務調査について

本委員会は、所管事務調査のうち次の事件等について、休会中に調査を要するものと決定したので、会議条例第144条の規定により通知します。

記

- 調査事件
3. がんばる地元企業等応援条例に基づく助成金の交付状況・実績について
 4. その他所管に関する事項について

福 議 委 号
平成30年6月14日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

広報広聴常任委員会
委員長 平 野 隆 雄

休会中の所管事務調査について

本委員会は、所管事務調査のうち次の事件等について、休会中に調査を要するものと決定したので、会議条例第144条の規定により通知します。

記

○調査事件 1. その他所管に関する事項について

福 議 運 号
平成30年6月14日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

議会運営委員会
委員長 平 沼 昌 平

休会中の所管事務調査等について

本委員会は、地方自治法第109条第3項に規定する事項について、休会中に調査等を要するものと決定したので、会議条例第144条の規定により通知します。